

生殖補助医療技術キャリア養成特別コースの開設事業 —生殖補助医療技術者の国家資格化とその国際的拠点形成—

岡山大学

背景: 我が国夫婦の
7組に1組が不妊!



不妊治療



妊娠

医師の下で
活躍!!

生殖補助医療技術者

・リカレント教育のニーズ

医療機関自らが技術者を養成
小規模医療機関ほど人材育成に割く労力は大きな負担

・地域の小規模生殖補助医療機関ほど
治療後の妊娠成績が低い

晩婚化の進む現在、生殖適齢期限が迫る夫婦
にとっては深刻な問題

課題: 生殖補助医療技術者
養成のための教育体系が未整備

岡山大学

保健学研究科
医学部保健学科

医療の基礎知識はあるが
生殖補助医療技術が未習得

環境生命科学研究科

農学部

生殖補助医療技術を習得するが
医療現場で要求される基礎知識が不足

岡山大の生殖補助技術者
輩出数は国立大学中第1位!

全国初!

農学部と医学部保健学科
関連大学院が連携

目的: 国家資格化に向けた教育体系の構築
教育システムの普及・国家資格化に向けた活動

効果: 医師に意見が言えるレベルの高い
生殖補助医療技術者の輩出及び
国家資格化

医療機関が人材育成に割く
労力が軽減される

日本および世界の生殖補助医療レベルの
改善!

EMJDs-REPROBIOの実施など
国際的養成拠点化!

学部レベル:

両学部の良いところ取り⇒生殖補助医療技術キャリア養成

大学院レベル:

生殖補助医療技術者のリカレント教育(人材発掘)

生殖補助医療管理技術者の養成